

## The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第3号

令和6年6月3日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

新学年での生活も2か月が経ちました。どうですか。イメージ通りに生活できていますか。なかなかイメージ通りには生活できていないのではないのでしょうか。でも、それが当たり前です。イメージ・計画通りにいかないのが人生です。計画通りにいかなかったときに、どうフォローしてカバーしていくのが大切なのです。まずは、1学期が終わるまで学校生活を充実させていきましょう。

今回は生成AIと将来について、考えてみたいと思います。

- \*そもそも生成AIって何ですか。
- \*Googleなどの検索エンジンと生成AIの違いは何ですか？
- \*生成AIの長所・短所は？
- \*生成AIの得意なこと・不得意なことは何でしょうか。
- \*ファクトチェックを知っていますか。
- \*生成AIを使ったことはありますか。

生成AIは確実に私たちの生活の中に入ってきています。現在の具体的なシーンをいくつか挙げてみます。ものすごいスピードで進化しています。

- ア 動画視聴サイト:「YouTube」などもAIを使っています。動画の視聴履歴を分析して、次に観たいと考えられる動画をすすめています。
- イ 自動運転技術:車についたセンサーやカメラでAIが周囲を認識します。車は障害物を避けたり、必要なときにブレーキをかけたりしています。
- ウ セキュリティロボット:AIを使って家を守ってくれます。もし異常があったらスマートフォンに通知が来るしくみです。
- エ AIのアラーム機能:睡眠の深さを感知して、浅い眠りのときに鳴るように設計されたアラームです。
- オ 交通ルート案内:事故などで時間どおりに目的地に着かないとき、AIを利用したナビゲーションは最新の情報もふまえてルートを案内しています。

カ 家事の手伝い：「今ある食材から料理のレシピを提案する冷蔵庫」「汚れに応じて最適な洗浄モードを選んでくれる洗濯機」など、日常の家事を効率的にしてくれています。

キ 健康管理：私たちの日常の動きや心拍数などから健康様態をはかり、アドバイスをくれます

もうすでに様々な場面でA Iが活用されているのが分かります。皆さんはA Iとの未来をしっかりと考え、共存する社会を作っていく人たちです。A Iで仕事や産業は変わってきています。「人とA Iの共働き」が一般的なワークスタイルになっていきます。その中で、

**「人間にしかできないこと」って何でしょうか。これがこれからのキーワードかもしれない。**

情熱、共感、思いやり、五感を通じた経験、倫理判断、意志……

皆さんは将来のことを真剣に考えていますか。今ある職業から考えるのもよいですが、A Iを活用したアイデアを実現させるための生き方をしてもよいのではないのでしょうか。

- ・生活が便利になるアイデア
- ・人間の創造性が豊かになるアイデア
- ・環境問題や少子化を解決に向かわせるアイデア
- ・芸術で人をより幸せにするアイデア

現代社会には課題が山積みです。その解決に向けたアイデアをA Iを活用して、生み出せるのは君たちです。将来を考える際に、「A I活用」をキーワードとして、考えてみてはどうでしょうか。将来を見据えて、総合学科で学ぶことも考えて下さい。

つばさ生には、「今こそ入試問題が解ける能力で順序付けられた偏差値ではなく、総合学科生として**将来を見据えた自分がやってみたい・なりたいことを**基に進学等すべきではないか」と投げかけています。

授業においては、生徒同士の学び合い、スマホ・ICTの活用、アプリではできない、学校でしかできない新しい学びに挑戦しています。学習の主体は生徒です。

時代に合った学びを実践して、意欲が感じられる学び合いのある授業を創っていかうと努力しています。

学校見学・説明会に来て、学校の雰囲気を感じ、生徒と話をしてみてください。